



レジリエント・ランドスケープ学の創造 キックオフシンポジウム

2023年11月18日(土)
100周年記念戸定ヶ丘ホール

【概要】

本シンポジウムは、千葉大学国際高等研究基幹 (IAAR) 社会価値創造研究支援プログラム「気候変動時代に応えるレジリエント・ランドスケープ学の創造」の一環として、海外研究者を招聘し、交流・対話を行うことで、研究成果の向上を図ることを目的として実施します。

本研究では「レジリエント・ランドスケープ学」という気候変動時代の新たな空間形成理論・技術を創造することを目指し、日本の国立大学唯一のランドスケープ学専攻を持つ千葉大学がイニシアチブを取り、欧州のランドスケープ学を先導するフランス、イギリス、オランダの3カ国との国際共同研究により、気候変動災害への対応、生物多様性の回復、空間格差の是正の3つの課題に取り組めます。今回はそのキックオフシンポジウムとして、フランスとオランダを代表するランドスケープ分野の研究者・実務者を千葉大学に招き、世界の最新のレジリエント・ランドスケープの取り組みについて意見交換をします。

【開催について】

日時：2023年11月18日（土）13：00～16：30

場所：松戸キャンパス 100周年記念戸定ヶ丘ホール（大学関係者のみ）

学外の方はオンライン（ZOOM）よりご参加ください。

※オンライン参加の方は下記のURLかZOOM IDよりご登録ください。

URL：https://zoom.us/webinar/register/WN_3VtBdKblQoKb6BcUGGHXeg

ZOOM ID：924 2165 7264

千葉大学国際高等研究基幹 社会価値創造支援プログラム
「気候変動時代に応えるレジリエント・ランドスケープ学の創造」

【推進リーダー】秋田 典子

【分担研究者】武田 史朗、木下 剛

【研究協力者】小林 達明

【特任研究員】村上 善明

【技術補佐員】三栗野 鈴菜、他